

## 蕪栗沼ふゆみずたんぼプロジェクト



ラムサール条約に登録されている  
かぶくりぬま  
「蕪栗沼・周辺水田」

渡り鳥と地域の共生の理念から始まった水稻の冬期湛水栽培を契機に、農業者をはじめとする関係者の幅広い連携とともに、農村環境保全と水田の生物多様性の保全・活用に関する多様な地域活動と積極的な情報発信により地域活性化が進んでいる。



おおさき  
宮城県大崎市



蕪栗沼・ふゆみずたんぼ  
観察ツアー  
(都市との交流)

### 〔生物多様性の保全〕

地域でまとまって冬に水を張るふゆみずたんぼを行うことにより、<sup>かぶくりぬま</sup>蕪栗沼をねぐらとしていたハクチョウやマガン等の渡り鳥が分散し、春にはニホンアカガエルの鳴き声、夏にはサギの群れ、たんぼの上をトンボやツバメが飛遊する光景が見受けられるようになり、生物多様性の保全に貢献している。

### 〔地域社会の振興〕

地域で冬期湛水に取り組むことで、渡り鳥の休息の場が増加。このような取組は米づくりのほか、都市住民によるふゆみずたんぼの観察会（エコツアー）や「ふゆみずたんぼ米」を使った酒の製造販売がなされるなど地域の活性化に貢献している。

### 〔体験学習と教育〕

地元農業者、NPO 法人、学識経験者、地域住民を中心に次世代へつなぐ取組として、地域の小中学校の児童・生徒や幼稚園児を対象に蕪栗沼の生態系や水田の重要性を子供たちに伝えている。



「ふゆみずたんぼ米」  
として販売



冬期湛水水田  
「ふゆみずたんぼ」  
(水鳥と農業の共生)



たんぼの生きもの調査  
(環境教育)